

表 2-3-2 学校の廃止、設置状況

(単位：校)

区分	年度	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
廃止		8	9	5 (2)	6	13	16 (1)	7 (1)	3	7	1
統合による設置		3	3	2	2	4	4	2	1	3	-

- 注：1. 「学校統計要覧」(昭42～昭51)による。
 2. カッコ内の数は、分校数を示し、外数である。
 3. 昇格、分離、新設のための設置校はない。

表 2-3-3 地域別学校数

(単位：校)

地域 年度	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき
41	60	78	28 (1)	61 (4)	14 (3)	34 (2)	42 (2)
45	57	76	23	58 (3)	14 (2)	31 (2)	40
51	48	68	18	52 (1)	12	27 (1)	40

- 注：1. 「学校統計要覧」(昭41, 昭45, 昭51)による。
 2. カッコ内の数は分校数を示し、外数である。校数は国、公、私立の合計である。

いわき地域を除く各地域にあっては、昭和45年度以降においても本校数が減少している。

いわき地域にあっては、昭和41年度から昭和51年度までにおいて本校が2校減少しているにすぎない(表2-3-3)。

従って、今後は、各地域における将来の生徒数の動態を見通し、それに応じる学校配置計画を検討する必要がある。

(5) 学校規模

学校規模を昭和41年度、昭和45年度、昭和51年度の学級数別学校構成比から、本校に限ってみると、11学級以下の学校の学校総数に占める割合が昭和41年度においては58.04%であったが、昭和51年度には61.13%となり、その占める割合が年を追って高くなる傾向を示している。

一方、適正規模校(学校教育法施行規則17条にいう12学級から18学級の学校)の学校総数に占める割合が昭和41年度においては24.29%であったが、昭和45年度には24.08%、昭和51年度には23.40%となって、ほぼ一定の推移傾向を示している。

また、19学級以上の学校の学校総数に占める割合が昭和41年度においては17.67%、昭和45年

表 2-3-4 学級数別学校(本校)構成比

(単位：%)

年度 学級区分	0～4	5～11	12～18	19～25	26～32	33～39	40～46
41	12.30	45.74	24.29	11.99	4.42	0.94	0.32
45	15.05	44.82	24.08	12.37	3.34	0.34	-
51	16.60	44.53	23.40	10.94	3.77	0.75	-

- 注：1. 「学校統計要覧」(昭41, 昭45, 昭51)による。
 2. 学級数別学校(本校)構成比 = (学級区分に対する本校数) ÷ (本校総数) × 100で、本校数には国、私立を含む。